

## 3 インド

### 「南アジア地域開発研究」

インド南西部に位置するケーララ州を拠点に、「住民参加型自治体計画づくりにおける政府と市民組織の協働」のテーマのもと、地元の研究機関（Center for Development Studies, CDS）や行政機関の研修所（Kerala Institute for Local Administration, KILA）、KSSP（ケーララ民衆科学運動、市民組織）などの協力を得つつ、ケーララ開発の実際を内側から学びます。

[ 担当教員 ] Dr. Babu Ambat

(Executive Director, Center for Environment and Development)

- \* 2 および 3 の各地域開発研究科目の内容・会場については、当該国の状況等により、変更になる場合があります。
- \* 各スクーリング会場への渡航・滞在にかかわる経費についてはすべて自己負担となります。

## 4 国内外での自主的フィールドワーク

### 「特定地域開発研究」

上記のスクーリング科目 3 コースのうち一つを、研究科の規定の下に、院生が自主的に企画実施するフィールドワークに代えて単位認定することが可能です。原則として、修論研究のためのフィールド調査に適用されます。教員の指導の下に調査前後で計画書と報告書を作成し、審査を受けます。

## 5 海外での開発実践に対する単位認定制度

### 「海外開発実践」

青年海外協力隊等を含む海外での開発協力実践において、1 年以上の経験を有する場合、入学後、指導教員のもとで活動をレビューするレポートを作成し提出のうえ、所定の水準を満たすと認められた場合は、海外開発実践 4 単位として認定します。この単位認定制度は、本研究科が海外での開発実践経験をお持ちの方を積極的に受け入れる趣旨から設けたものです。

- \* ただし、修了要件として、少なくとも 1 科目（4 単位）の国内外スクーリング科目 1～3 の単位取得が必要です。

